

# 老朽高浜原発事故時 感染症対策等 避難先自治体へのアンケート 結果

## 【避難者を京都府民に限った場合の結果】

### ●京都府の避難者数と避難元市町：約 116,000 人

(舞鶴市 81,880 人、綾部市 8,090 人、南丹市 3,540 人、京丹波町 2,900 人、福知山市 450 人、宮津市 17,900 人、伊根町 1,400 人)

避難先は京都府内、兵庫県、徳島県

### ○ アンケート対象自治体 38 市町\*

(京都府 16 市町 (福知山市は 2 とカウント)、兵庫県 19 市町、徳島県 3 市町)

[対象自治体は、内閣府「高浜地域の緊急時対応」による]

※避難先市町 38 のカウントについて：

福知山市は、市内分 1+宮津市・伊根町で 1 のため 2 と数える。

京丹波市は、宮津市と伊根町分一括回答のため 1 と数える

### ○ 回答率：95% (38 市町の内、回答あり 36 市町、回答なし 2 市町)

### ○ アンケート実施期間：2021 年 2 月 16 日～3 月 4 日

### ○ 方法：アンケート用紙を F A X ・メールで送付し、同様に回答を受け取った

### ○ アンケート実施団体：福井と関西の 3 団体

(ふるさとを守る高浜・おおいの会/ 安全なふる里を大切に作る会/ 避難計画を案ずる関西連絡会)

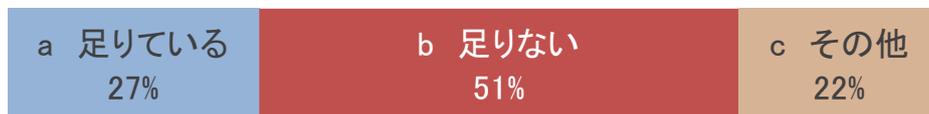
	回答あり	回答なし	合計
京都府内の避難先	15	1	16
府外 (兵庫県、徳島県) の避難先	21	1	22
合計	36	2	38

### ◆感染症対策を実施した場合 避難所が「足りている」避難先は 3 割以下

「足りている」市町は 3 割以下で 27%

「足りない」と「その他」(避難所が決まっていない等) の市町の合計は 73%

感染症対策 避難所の数は足りていますか？ (避難者を京都府民に限った場合)



「足りている」10 市町/ 「足りない」19 市町/ 「その他」8 市 (亀岡市は回答数 2)

### 【回答の特徴と自治体の声を一部紹介します】

#### ◆感染症対策を実施した場合、避難所は足りているか？

- ・「足りている」は、3 割以下で 27% (10 市町)
- ・「足りない」51% (19 市町)
- ・「その他」(避難所決まっていない等) 22% (8 市町)
- ・実際に足りない＝「足りない」＋「その他」で 73% (27 市町) にもなる

(1) 舞鶴市の避難先：ほとんどが「今後調整」で具体化されていない

① 府内避難の場合：多くが「京都府と調整する」

- ・ 京都市（約 65,000 人を受入れる最大の避難先）：  
「その他」。理由「府を中心に避難元市町を交え、避難方法等を含め、調整を進めている」
- ・ 宇治市（約 14,000 人受入れ）：「その他」。理由「今後京都府に調整していただく」
- ・ 向日市：「その他」。理由「具体的にまだ決まっていない」  
（向日市は、避難元市町、受入れ人数、避難所の数、全て「決まっていない」と回答）

② 府外避難の場合：上記と同様に、「事故時に柔軟に対応」「調整後に」という回答

- ・ 神戸市（約 34,000 人を受入れる府外の最大の避難先）：「その他」。理由「受入れ調整の中で、  
現実に発生する避難者数と避難所の状況を見ながら柔軟に対応する」  
※神戸市は、いまだマッチング\*もできていない「マッチングは受入れ調整の中で行う」  
\*マッチング：避難元住民がどの避難所に入るのかの具体化
- ・ 西宮市（約 16,000 人受入れ）：「その他」。理由「京都府と兵庫県の調整後」
- ・ 淡路市：「足りない」が「対策はしていない」。理由は、事故後に舞鶴市民が避難して来てから「別の避難所へ移動してもらうことを想定している」
- ・ 地震との複合災害時に不足。「原発事故時のみの避難所は確保しているが、南海トラフ巨大地震などに関連した複合災害の場合は、不足している」（鳴門市）
- ・ 「足りない」ため、対策として「公的な避難所以外にも親戚や知人宅への避難や宿泊施設への避難についても検討していただくよう周知を行う」（尼崎市 約 14,000 人受入れ）。尼崎市に親戚等のいる舞鶴市民がどれだけいるのか？

(2) 舞鶴市以外の避難先も「足りない」「その他」で、「事故後に対応」、今後「協議して検討」

- ・ 与謝野町（宮津市民を受入れ）：「足りない」が「対策はしていない」。理由「今後、京都府から調整されるものと理解している」
- ・ 洲本市（南丹市民を受入れ）：「足りない」が「対策はしていない」。理由「南丹市その他、兵庫県、京都府を交えて協議を行う必要がある」
- ・ 芦屋市（京丹波市民を受入れ）：「その他」。理由「事故の状況に応じて京都府及び兵庫県との協議により対応方法を検討」

(3) 避難所を増やしたのは、南あわじ市（南丹市民を受入れ）のみ 9 か所から 25 か所に

(4) 府内と府外に避難先があるので、受入れは半数で済むとの回答→風向きを無視している

- ・ 3 市が「京都府では、府内・府外いずれにも避難可能な場合、従来の 50%程度の避難者の受入れをお願いすることを検討している。今後、京都府に調整していただくことになる」と回答（宇治市、京丹後市、長岡京市）。長岡京市（宮津市民を受入れ）はこれを理由に「足りている」と回答。

しかし、避難計画で、避難先を府内・府外の 2 方向に設けているのは、事故時の風向きに

よって避難先を選択できるようにするためである。「いずれにも避難可能な場合」という条件そのものが矛盾している。単なる数合わせであり、これでは「感染症対策」にはならない。

#### (5) 「足りている」と回答しているが、実際は「足りていない」市町も

- ・他にも下記のように「足りている」と回答しているが、実際は「足りていない」市町がある。
- ・南丹市（南丹市UPZ約3,600人を市内のUPZ外の区域で受入れ）：「足りている」と回答しているが、「市内避難では、通常ですと足りているが、50%と言われると足りない。しかし、その場合は市外避難で南あわじ市に行くことになるので、そういう意味では足りている、でも、市内の避難の視点から言うとそうではない」と記載。
- ・北島町（舞鶴市民約4,400人受入れ）：「足りている」と回答。しかし、「現時点の考え方として、新型コロナウイルス流行下においては、収容人数が50%程度となることから、受入可能人数は約2,000人と想定している」と記載\*。

※2月26日電話にて、舞鶴市とそういう相談はしておらず、北島町の判断であり、「足りている」のは約2,000人の場合であると確認。

### ◆濃厚接触者の「別室確保」について：健康な人だけが避難して来ることになっているのか？

#### (1) 濃厚接触者は避難して来ないと思っている市町もある

- ・「濃厚接触者や発熱者については、避難者を送り出す際に、感染症の水際対策として、一時避難場所で健康チェックをし、健康な住民の方が避難受入先の施設に向かうこととなっていると聞いている、受入対象は感染症のおそれのない人に限られると承知している。よって、別室は確保していない。ただし、状況に応じ、対応する」（北島町）

#### (2) 約4割の市町が確保できていない

以下の①～③を考慮すれば、実際には約4割の市町が確保できていない。

##### ①「確保できていない」と回答した市町（10市町）

（与謝野町、京丹波町、宇治市、向日市、京田辺市、精華町、淡路市、洲本市、宍粟市、たつの市）

- ・「本市に来るまでにスクリーニングが行われる」（京田辺市）
- ・「今後、京都府から調整されるものと理解」（与謝野町）

##### ②神戸市はマッチングもできていないにもかかわらず「確保できている」と回答。

##### ③「その他」または、回答の選択なしのうち、事実上確保できていない（5市町のうち3市）

- ・「濃厚接触者等の別室確保についても、京都府を中心として避難元市町を交え、避難方法等を含め、調整中」（京都市）
- ・「当市の対応は京都府と兵庫県の調整後になる」（西宮市）
- ・「事故の状況に応じて京都府及び兵庫との協議により対応」（芦屋市）

◆困っていること、県や府、関西広域連合への要望などの意見

- ・「濃厚接触者は府県で対応していただかなければ、市町での対応はできない」（京丹波町）
- ・「京都府では、濃厚接触者や発熱者は避難元の段階から「疑い区分」として扱うことを検討されており、「疑い区分」の避難先についても調整中。仮に濃厚接触者、発熱者が避難してこられた場合は、別室又は別の避難場所へご案内」（長岡京市）

2021. 3. 17

避難計画を案ずる関西連絡会（一覧表に●等の説明を追加）

この件の連絡先：グリーン・アクション

高浜原発事故時 避難者を京都府民に限った場合  
避難先自治体アンケート結果

避難元	避難元市町	避難先	受入人数	避難所の数	マッチング ●できている ×できていない	感染症対策で避難 所は足りているか ●足りている ×足りない	濃厚接触者の 別室確保 ●確保している ×できていない	
京都府	舞鶴市	京都市	65,000	120	●	その他	(その他)	
		宇治市	14,000	36	●	その他	×	
		城陽市	6,000	21	●	●	●	
		向日市	—	—	×	その他	×	
		神戸市	34,000	69	—	その他	●	
		西宮市	16,000	65	●	その他	(その他)	
		淡路市	900	5	●	×	×	
		尼崎市	14,000	83	●	×	●	
		鳴門市	8,500	32	●	その他	●	
		北島町	4,400	20	●	●	—	
		松茂町	3,700	10	●	●	—	
	綾部市	福知山市(1)	9,300	23	●	×	●	
		亀岡市	6,300	58	●	●/その他	●	
		相生市	975	5	●	●	●	
		宍粟市	1,462	11	●	×	×	
		赤穂市	1,700	2	●	×	●	
		佐用町	469	2	—	×	●	
		太子町	1,000	8	●	×	●	
		たつの市	3,000	3	●	×	×	
	南丹市	南丹市	3,600	13	●	●	●	
		洲本市	1,764	9	●	×	×	
		南あわじ市	1,849	9	●	●	●	
	宮津市	京田辺市	5,000	23	●	×	×	
		京丹後市(2)	10,600	36	●	×	●	
		福知山市(1)	6,644	20	綾部市からの受入れと同じ回答			
		与謝野町	4,300	13	×	×	×	
		木津川町	5,000	17	●	×	●	
		長岡京市	5,774	21	●	●	●	
		高砂市	2,521	14	●	×	●	
		加古川市	7,700	51	●	×	●	
		明石市	8,412	47	●	×	●	
	八幡市 回答なし							
	伊根町	京丹後市(2)	宮津市分と合わせて一括回答					
		精華町	1,559	4	●	×	×	
		稲美町	760	13	×	×	●	
		播磨町	回答なし					
	福知山市	福知山市	600	1	●	●	●	
		上郡町	450	1	●	●	●	
	京丹波町	京丹波町	3,064	20	●	×	×	
		芦屋市	2,996	19	●	その他	(その他)	